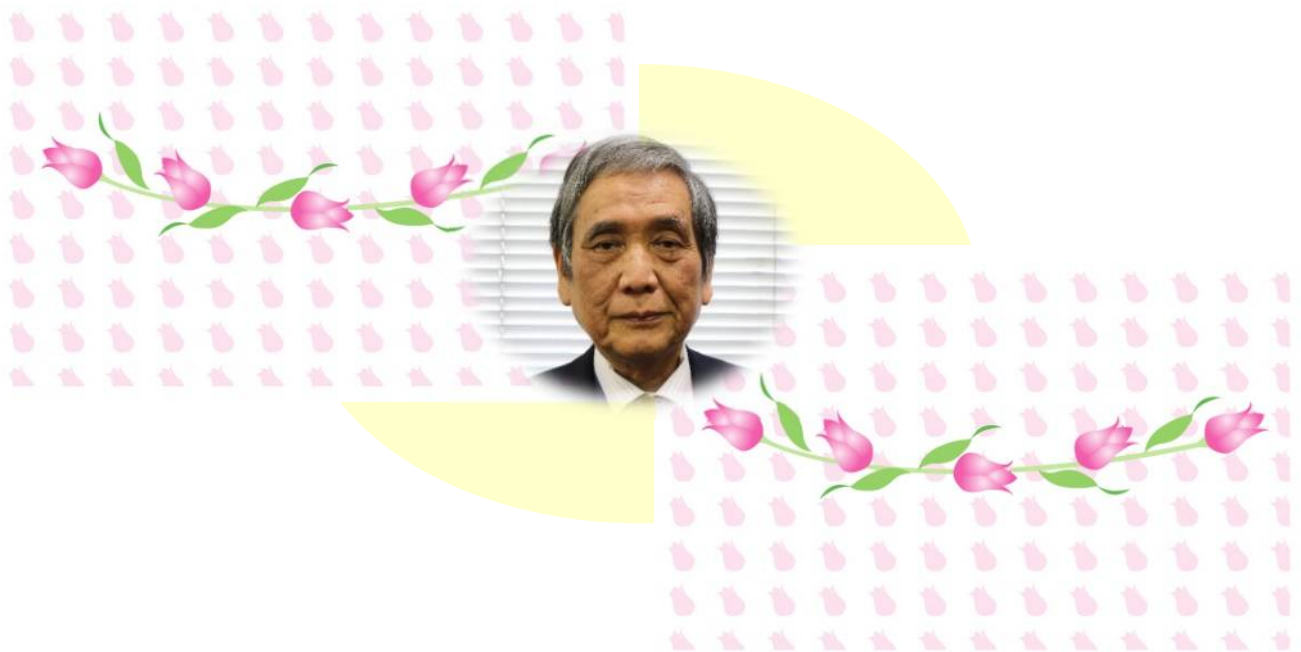




福山市東部市民大学は、東部地区の自治会連合会、交流館、老人会、女性会が中心となって福山市の支援を受けながら、地域の生涯学習の場として発足し、本年度19年目を迎えます。

若い方からシニアの方まで幅広く楽しんで学んでいただくために、今年も素晴らしい講師の先生方をお迎えし、27の講座を開設しました。子育てが一段落した方、定年等で仕事中心の生活に区切りをつけ、新しい第二の人生を楽しく過ごそうと考えておられる方、技術や趣味を持ちたいと思われている方など、様々な方が受講されています。

昨今の広島県は、流出人口の非常に多い県です。高校卒業後は他県に進学して卒業しても帰って来ない。子どもたちは関東や関西で就職して居住して、福山には高齢者だけが残っているという家庭が増えています。さらには、以前のような近所づきあいが希薄になって、地域の中にコミュニケーションを持つ場が減って来ています。

私達が日常生活を円滑に行うためには、まず健康を保たねばなりません。それには、「社会との繋がり」が大きな影響を与えます。

本校の講座を受講することで、技術の習得やその向上を目指すことや、趣味を楽しむことによって様々なことに興味や関心を持ち、新たな交流の輪を広げましょう。そして、笑顔溢れる豊かな人間関係を育み、生きる楽しさが味わえる生活をしましょう。

このように人と人、人と社会を広げる本校の活動は、一人一人の健康寿命を延ばすことに大いに貢献しています。若い方シニアまで、活力と潤いのある生活を目指して共に学びましょう。そのための福山市東部市民大学の役割は、益々重要になっていると考えています。

福山市東部市民大学

学長 藤本 進